

第100期

中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード 1860



- P1 株主の皆様へ
- P3 工事実績・受注工事のご紹介
- P5 TOPICS
- P11 財務情報
- P13 株主総会資料(招集通知)の電子提供制度について
- P14 株主様アンケート結果のご報告

写真：(仮称)グッドマン高槻新築工事

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第100期第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績及び事業活動についてご報告申し上げます。当社は5月17日に2024年度までの3カ年を対象とする「中期経営計画2024ローリングプラン」を発表いたしました。その中でも触れましたESG経営について、8月にGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が採用する5つ*の「ESGインデックス」に選定されましたことをご報告いたします。

これからも当社は事業活動を通じてより良い未来の社会づくりに貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※5つの「ESGインデックス」

No1. FTSE Blossom Japan Index

No2. MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

No3. MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

No4. S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

No5. FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



代表取締役社長

大谷 清介

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内景気は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、行動制限の解除等により社会経済活動の正常化が進み、全体として景気に持ち直しの動きがみられました。

建設業界においては、官公庁工事の受注が前年同四半期比で減少した一方、民間工事の受注が増加しました。しかしながら、急速な円安及び資材価格の高騰など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループにおいては、2022年5月に「中期経営計画2024ローリングプラン」を公表し、建築、土木及び戦略的各基幹事業における顧客への提供価値の進化を進めるとともに、重点管理事業として、新TODAビル、海外事業及び浮体式洋上風力発電事業等の再エネ事業を掲げ、これらの事業へ成長投資を行い事業ポートフォリオの強化をしております。当第2四半期連結累計期間においても中長期的成長を目指すため、トップマネジメントの積極的関与のもと継続して成長投資を推進しました。なお、成長投資を推進する一方でROE(自己資本利益率)8%を中長期的に確保するため、IRR(内部収益率)及び資本コスト等の指標を使用し投資後の収益性を管理する等、投資プロセスの強化にも取り組んでおります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。連結売上高については、主に国内グループ会社における売上高が増加したことにより、全体としては2,398億円と前年

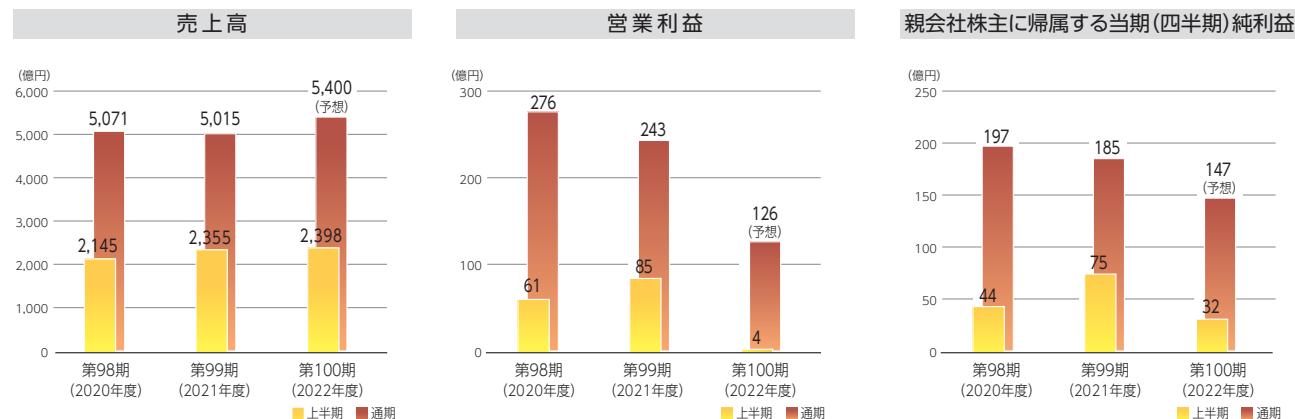
同四半期比1.8%増加となりました。

営業損益については、当社の土木事業において工事の採算性が向上し売上総利益が増加しましたが、建築事業において市場環境の変化による鉄骨などの資材価格上昇に伴い複数件の工事にて工事損失引当金を計上したことなどにより、売上総利益は198億円と前年同四半期比22.7%減少となりました。また、販売費及び一般管理費が193億円と前年同四半期比13.5%増加したことにより、営業利益は4億円と前年同四半期比94.6%減少となりました。

経常損益については、保有する投資有価証券の受取配当金及び為替差益などにより営業外収益が増加しましたが、営業利益の大幅な悪化に伴い37億円と前年同四半期比65.0%減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、32億円と前年同四半期比57.6%減少となりました。

● 財務ハイライト(連結)



工事実績・受注工事のご紹介

建築

▼第100期上半期の主な完成工事



発注者

ESR(株)

工事名称

ESR弥富木曾岬ディストリビューションセンター



発注者

(医)静和会

工事名称

(仮称)八軒新病院新築工事



発注者

札幌貨物施設開発特定目的会社

工事名称

(仮称)DPL札幌レールゲート新築工事

▼第100期上半期の主な受注工事

舞洲開発特定目的会社

(仮称)DPL大阪舞洲新築工事

ラム特定目的会社

ESR OS1データセンター新築工事

(独)国立印刷局

王子工場事業棟新築ほか工事(建築)

(学)北里研究所

北里大学相模原キャンパス未来工学部校舎新築工事

(学)東京農業大学

東京農業大学第一高等学校・中等部校舎建替整備 1期工事

(学)昭和大学

(仮称)昭和大学富士吉田キャンパス新男子寮整備計画

横浜市

旧横浜市立市民病院解体工事

▼第100期上半期の主な完成工事



発注者

福島県

工事名称

道路橋りょう整備(再復)工事(トンネル)



発注者

東日本高速道路(株)

工事名称

東北自動車道水深橋跨高速道路橋(ロッキング橋脚)耐震補強工事

▼第100期上半期の主な受注工事

中日本高速道路(株)

新名神高速道路 錐ヶ瀧橋他1橋(PC上部工)拡幅工事

国土交通省近畿地方整備局

すさみ串本道路東地トンネル他工事

環境省

令和4年度から令和6年度までの飯舘村仮置場復旧等工事

国土交通省関東地方整備局

R4国道20号八王子南BP館第二トンネルその2工事

川崎市

等々力水処理センター建設土木その40工事

イオンモール(株)

イオンモール伊達開発工事

「新TODAビル」においてCASBEE Sランクを取得 大規模複合ビルにて日本初の高位評価でSDGs対応版CASBEE建築評価認証を獲得※1



完成予想パース(外観)

当社は、建設中の新社屋「新TODAビル」において、建築環境総合性能評価システム(CASBEE)による建築物環境性能評価※2にて最高位であるSランク認証を取得しました。

大規模複合用途ビル※3におけるSDGs対応版でのCASBEE-建築(新築)にてSランク認証取得は本件が日本初となります。また、自主評価による建築環境SDGsチェックリストにおいても総合スコアでランク5を獲得しました。

なお、当ビルは2021年9月6日に既に超高層大規模複合ビル※4における建物全体での日本初のZEBReadyも取得済みです。

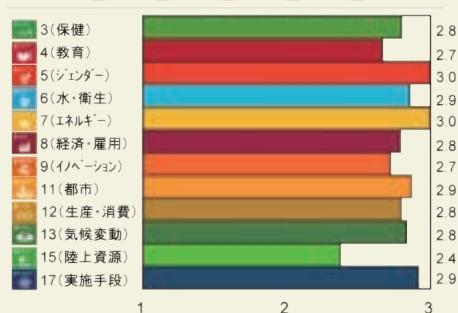


「CASBEE-建築(新築)」認証ロゴ

- ※1 一般財団法人住宅・建築SDGs推進センターホームページ、CASBEE評価認証物件一覧による(2022年4月初め時点)
- ※2 CASBEE-建築(新築)2021年版(SDGs対応版)を使用
- ※3 延床面積50,000㎡以上の複合用途ビル
- ※4 建物高さ150m以上の複合用途ビル



BEEチャート



* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

建築環境SDGsチェックリスト

CASBEEについて

「CASBEE」(建築環境総合性能評価システム)は、建築物の環境性能で評価し格付けする手法です。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム(BEEチャート)で、評価結果は「S」を最高位とし、「A」「B+」「B-」「C」の5段階でのランキングが与えられます。

CASBEE Sランク取得に向けた取り組み等

本物件のCASBEE-建築(新築)Sランク認証取得に向けた建築的・設備的取り組みについて代表的なものを下記に示します。

1 建築的取り組み

外壁の大部分を占める基準階外周部において、熱的配慮として大小の縦フィンを設置するとともに、南北にはバルコニー・庇を設けることで日射負担を抑制し、高性能Low-E複層ガラスの採用・上下別動制御の電動ブラインドの採用等により、外皮負荷低減と有効受光の両立を図っています。その他に、フロア階高を確保し、空間の対応性・更新性を図り、サービス性能を向上しています。また、建物前面に広場を設け、積極的に外構緑化・建物緑化を行い、街並みとの調和に配慮した景観計画にしています。

構造では日本一「揺れない」耐震性能を目指した当社開発のコアウォール免震構造を採用し、非常に高い安全性を提供します。耐震性能は建築基

準法の1.5倍、変形許容は鉄骨免震構造の1/2、揺れ許容は鉄骨制振構造の1/2で設計しています。また、基礎梁・耐圧スラブにおける躯体材料として、低炭素型のコンクリート「スラグリート®」*5を採用し、施工段階におけるCO₂の削減にも寄与しています。

*5 西松建設(株)と共同で開発した高炉スラグ微粉末高含有コンクリート(NETIS登録番号:QS-210008-A)

2 設備的取り組み

空調設備ではコージェネレーション設備700kW×2台を当ビル用に7階熱源機械室に設置、常用電力供給とともにその廃熱を吸収式熱源熱源、熱交換器温水熱源、職域食堂の給湯に利用し、熱の高効率運用を行っています。また、屋上に水素蓄電設備を併用した太陽光発電パネル50kWを配置し自然エネルギーの取込みとその有効配電を実現しています。さらに高効率機器を多数採用し、基準階事務室に潜顕分離空調を採用し顕熱処理に高効率ターボ冷凍機を使用、換気における全熱交換器の導入・インバーターによる適時適量制御の導入により消費エネルギーの大幅な削減を図っています。

衛生設備では節水型器具の採用は元より、雑排水、厨房排水、空調排水、雨水を処理し、全館のトイレ用雑用水として再利用し節水に努めています。

3 運用段階での取り組み

竣工後の運用段階に入った際には、建物で消費される各種エネルギー消費量を年間通じてモニタリングできる中央監視を構築し、その傾向を分析、

妥当性を確認することで次年にフィードバックできる設備としています。また、その設備を組織的に運用管理できる体制を運用前に整備する予定であり、BIMを使用したFM構築にも取り組んでいます。

戸田建設の地球環境への取り組みと今後について

当社では世界の「1.5℃目標」達成に向け、ZEBの普及とともに、2010年よりエコ・ファースト企業として環境課題の解決に取り組んできました。2017年にCO₂削減目標のSBT*6認定を取得し、さらに2019年にはRE100イニシアチブ*7へ加盟し、事業活動におけるCO₂排出量の削減、そして再生可能エネルギーの利用を推進しています。また、本物件では今後、運用・技術の両面において更なる省エネ、CO₂削減性能の向上に取り組んでいきます。

*6 Science Based Targetsの略。パリ協定達成のための科学的知見と整合したCO₂排出削減目標

*7 事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する国際企業イニシアチブ



各種ロゴマーク(左から エコ・ファースト企業認定/RE100/SBT認定/CDP A list企業選定)



中央通り側広場外観イメージパース

物件概要

工事名称	(仮称)新TODAビル計画 新築工事
所在地	東京都中央区京橋1丁目7番1号
敷地面積	6,147.44㎡ / 建築面積: 約4,680㎡ / 延床面積: 約94,800㎡
建物高さ	約165m
容積率	1,300%
構造	RC造(コアウォール構造)、S造・CFT造・SRC造・免震構造 / 階数: 地上28階、地下3階
用途	事務所・集会場・美術館・物販店舗・飲食店舗・自動車車庫
設計	戸田建設(株)一級建築士事務所
施工	戸田建設(株)東京支店
竣工	2024年(予定)

タワークレーン3次元自動誘導システムの精度と作業効率を大幅にアップ! タワークレーンのコアコントロールシステム・ユニットを開発

当社は、タワークレーン3次元自動誘導システム*1の精度及び作業効率を向上させる、新たなシステムを開発しました。本システムは、GNSS (Global Navigation Satellite System)*2受信機、各種センサー及び高感度カメラによって、タワークレーンで吊り上げた吊荷の位置、方向、姿勢及び吊荷の振れを把握・制御し、状況に応じた安全かつ効率的な方法で吊荷を指定の位置に自動的に誘導するものです。本システムにより、従来は作業の安全性確保に多くの手間と時間を必要とした夜間や悪天候時でも、安全かつ正確なタワークレーンの自動運転が可能となります。

2021年度に本システムの実証試験を繰り返し実施し、その有効性を確認しました。

※1 当社リリース「タワークレーンの3次元自動誘導システムを開発-タワークレーン2次元自動誘導システムをバージョンアップ-」
https://www.toda.co.jp/news/2020/20201007_002798.html

※2 全地球測位システム:人工衛星を使用して地上の現在位置を計測する「衛星測位システム」のうち、全地球を測位対象とすることができるシステムのこと



写真1 実証試験の状況

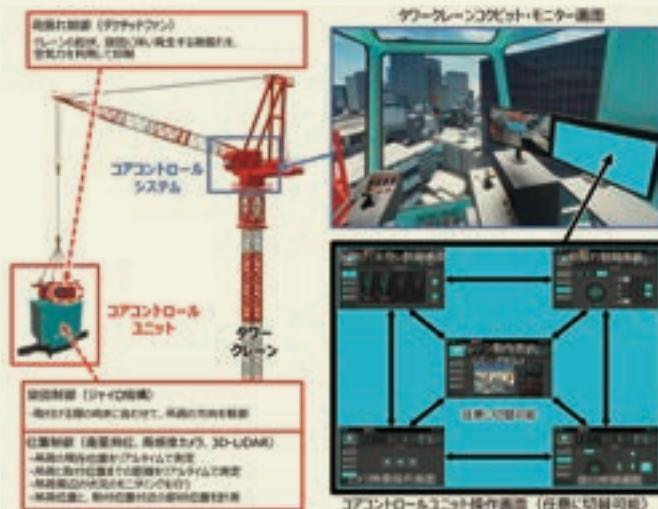
開発の背景

従来のタワークレーンによる揚重作業には、以下のような課題がありました。

- 1 夜間や悪天候時には、作業の安全性確保に困難を伴う。
- 2 我が国の少子高齢化等を背景とした技術者の減少により、安全かつスムーズに運転できる熟練した技術を持つオペレーターが少なくなる。

システムの概要

当システムは、搭載した各種のセンサー情報を用いて吊荷の姿勢や揺れの制御・玉掛し等を行う「コアコントロールユニット」と、このユニットが取得した情報を収集し、各種端末にて表示・制御するための「コアコントロールシステム」で構成されています。この2つが連動することで、タワークレーンや吊荷の状況をリアルタイムに把握し、従来より精度よく、かつ効率よく指定の位置へ誘導することが可能となります。



システムの概要図

なお、コアコントロールユニットには、これまでになかった新たな荷振れ制御システムも搭載されています。ユニット内にあるモーションセンサーが吊荷の振れを検知すると、吊荷の振れる方向(速度)とは逆の向きに推力が発生するよう、ダクトドファンと呼ばれる推進器が稼働し、吊荷の振れを自動で抑制します。これにより、従来はオペレーターの技量に依存していた荷振れ制御が可能となります(足利大学仁田教授との共同研究/特許出願中)。



写真2 荷振れ制御システムの実証試験の状況

今後について

本システムは2020年度に実現場で試行を開始し、2021年度は実証試験にてその有効性を確認しました。当社が開発した自動鉄骨計測・建入れシステム及び仮ボルト不要接合法「ガチャントピン®」等の技術と組み合わせることで、当社は鉄骨・PC工事の更なる自動化を目指します。

アグリサイエンスバレー構想(茨城県常総市)において「3次産業」を担う商業施設の建設に着手 「TSUTAYA BOOKSTORE 常総インターチェンジ(仮称)」の運営による農業6次産業化の推進

当社は、当社がPPP事業協力者として参画する「アグリサイエンスバレー構想(茨城県常総市)」において、2022年6月17日に「(仮称) TSUTAYA BOOKSTORE 常総IC店 新築工事」の地鎮祭を執り行いました。

2023年春のまちびらきを目指す「アグリサイエンスバレー構想」は、圏央道常総インターチェンジ周辺地域を中心とし、食と農と健康をテーマに農業6次産業化による新たな拠点をつくり、地域創生に貢献することを目的としています。

本事業において、「BOOK & CAFE」スタイルのTSUTAYA BOOKSTOREを中心に、「親子」「生活」「食」をテーマにしたライフスタイル提案型施設を整備。当社が事業主体となり、東和観光開発(株)を含む戸田建設グループで運営します。アグリサイエンスバレー構想にて実現する農業6次産業化のうち、多様なお客様が集う3次産業の場を創出することで、常総市の活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に貢献してまいります。

また、隣接地では2024年春開業に向けて温浴施設を計画しております。店舗と温浴施設に関する詳細は、今後随時発表してまいります。



図 「TSUTAYA BOOKSTORE 常総インターチェンジ(仮称)」店舗イメージ

施設概要

名称	TSUTAYA BOOKSTORE 常総インターチェンジ(仮称)
所在地	茨城県常総市三坂新田 1737 周辺
敷地面積	20,948.81㎡
建築面積	3,158.43㎡
延床面積	2,977.54㎡
設計・監理	SUPPOSE DESIGN OFFICE(株)
施工	昭和建設(株)
着工	2022年6月
開業	2023年春(予定)

アグリサイエンスバレー構想とは

多数の地権者が所有する農地を集約し大区画化すると同時に、生産・加工・流通・販売まで一気通貫した事業施設を整備。農業6次産業化による地域活性化を目指すまちづくりです。

戸田建設は事業の構想段階から地域に入り、市、地権者と3者で官民連携協定を結びとともに、土地区画整理事業の業務代行者としても事業を進めています。

「史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事」が 日建連表彰2022 第3回土木賞(特別賞)を受賞

当社が施工した史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事が日建連表彰2022 第3回土木賞(特別賞)を受賞しました。



日建連表彰「土木賞」について

日建連表彰は、土木分野の土木賞、建築分野のBCS賞から構成される表彰制度です。このうち土木賞では、事業企画、計画・設計、施工、環境への取り組み、維持管理の質の向上により良好な土木資産を創出し、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することを目的としています。第3回土木賞には41件の応募がありました。書類による第一次選考、現地調査とプレゼンテーションからなる第二次選考を経て、特別賞2件を含む12件のプロジェクト・構造物が土木賞を受賞しました。

史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事について

擬宝珠橋は鳥取市中心部に位置する鳥取城郭の正面玄関口にあたります。本工事の最大の特徴は、ステンレス製の水中梁と木橋のハイブリッド構造を採用した点です。この構造により、堀に残る橋脚遺構の完全保存と史実に忠実な座標での復元を両立しています。木橋部では“モノづくりの原点”である職人の伝統技能を活かし、技術の伝承に貢献しました。文化財での工事であったため地元への関心が非常に高く、完成式には多くの市民が訪れました。

第3回土木賞 作品紹介ウェブページ

<https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/article/dwPHQLAyPFwddnQyacZRVBS>



木橋と水中梁の接合部



完成式の様子

所在地	鳥取県鳥取市東町2丁目地内
施設管理者	鳥取市教育委員会事務局文化財課
設計者	(株)文化財保存計画協会 大日本コンサルタント(株)
施工者	戸田建設(株)
関係者	NPO 法人小田原鋳物研究所 (有) 渡辺梵鐘 (株) いちい 日鉄ステンレス(株) (株) 檜崎製作所 (有) 川本造園 (株) 大昌エンジニアリング (株) モクラボ 平山工務店
着工年月	2016年12月20日
竣工年月	2019年3月29日

五島市沖洋上風力発電事業

五島フローティングウィンドファーム合同会社は、再エネ海域利用法に基づく浮体式洋上風力発電所として計画してきた「五島市沖洋上風力発電事業」において、2022年4月、国内で初めて公募占用計画の認定を受けた後、発電設備の設置工事に必要な海域占用等の許認可手続きを進めてきました。

この度、五島市福江港の岸壁ヤードにおいて、今回設置する8基のうち1号機となる浮体が完成し、半潜水型スパッド台船(船名:フロートレイザー)に積み込まれました。2022年10月8日、海上での風車組立作業を開始するため、桜島沖の海域に向けて福江港より出航しました。

引き続き、促進区域内における浮体式洋上風力発電所として、2024年1月の商業運転開始を目指し、順次、施工を進めていきます。



浮体積み込み状況



積み込み完了状況

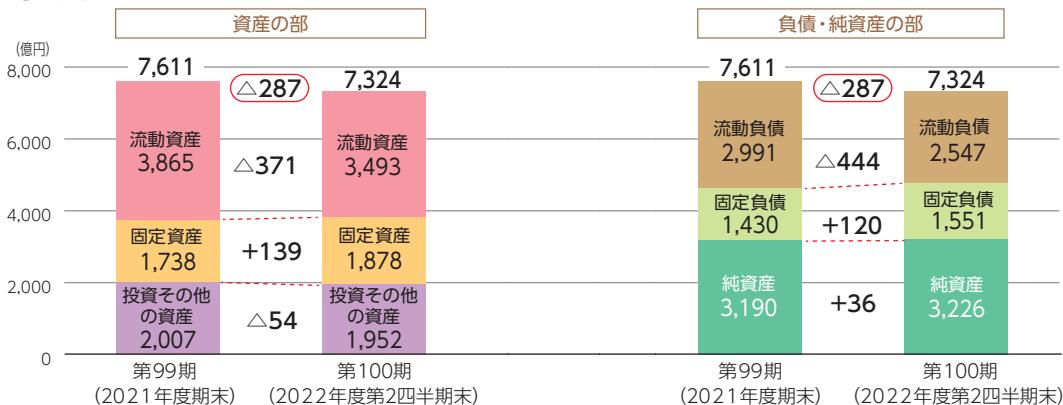
事業概要

事業名称	五島市沖洋上風力発電事業
事業主体	五島フローティングウィンドファーム(同)
発電設備	浮体式洋上風力発電設備 16.8MW(=2.1MW機×8基) (全長176.5m、ローター径80m)
所在地	長崎県五島市沖
運転開始	2024年1月(予定)
参画企業	戸田建設(同)、ENEOS(同)、大阪ガス(同)、 (同)INPEX、関西電力(同)、中部電力(同)



完成予想図

連結貸借対照表



資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等が108億円、未成工事支出金が70億円、建設仮勘定が69億円増加しましたが、現金預金が417億円、有価証券が94億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して287億円減少の7,324億円(3.8%減)となりました。

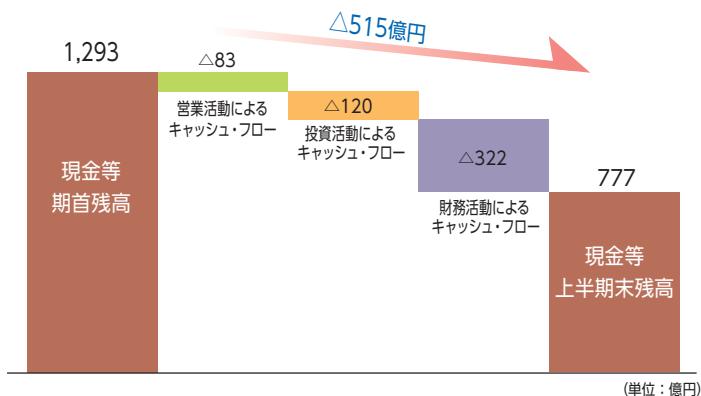
負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、未成工事受入金が68億円、工事損失引当金が66億円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が74億円、短期借入金が125億円、コマーシャル・ペーパーが200億円、未払法人税等が50億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して323億円減少の4,098億円(7.3%減)となりました。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益32億円を計上したこと、また円安の進行に伴い為替換算調整勘定が16億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して36億円増加の3,226億円(1.1%増)となり、自己資本比率は43.1%となりました。

連結キャッシュ・フロー 2022年度第2四半期



連結キャッシュ・フローの状況

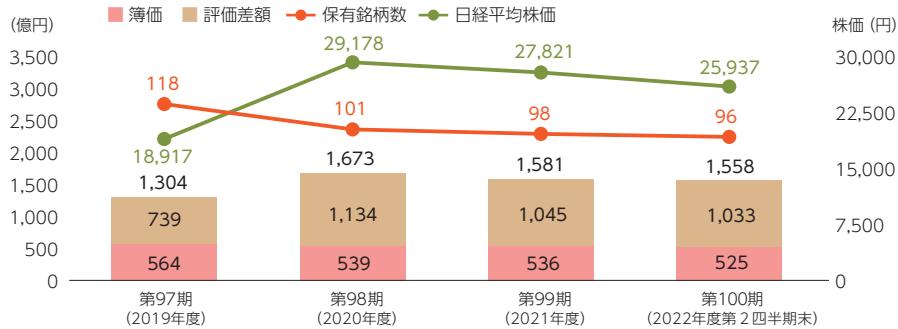
当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は、前連結会計年度末に比べ515億円減少し、777億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、83億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は305億円の資金増加)となりました。税金等調整前四半期純利益が38億円、減価償却費が29億円、減損損失が20億円となっており、売上債権の減少により45億円、販売用不動産の減少により18億円の資金が増加しましたが、仕入債務の減少により134億円、法人税等の支払により59億円の資金が減少したことが主な要因です。

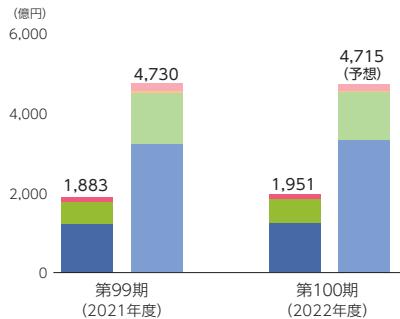
投資活動によるキャッシュ・フローは、120億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は74億円の資金減少)となりました。有形固定資産の売却により14億円、投資有価証券の売却及び償還により14億円の資金が増加しましたが、有形固定資産の取得により127億円、投資有価証券の取得により9億円、子会社株式の取得により9億円の資金が減少したことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは322億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は230億円の資金減少)となりました。社債の発行により100億円の資金が増加しましたが、短期借入金の返済により101億円、コマーシャル・ペーパーの償還により200億円、社債の償還により50億円、配当金の支払により49億円の資金が減少したことが主な要因です。

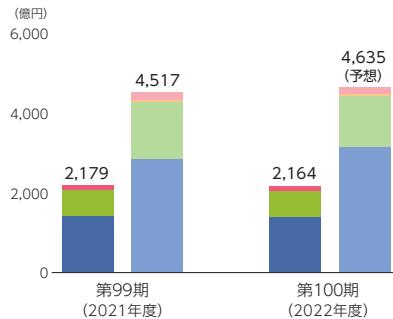
政策保有株式の推移(個別)



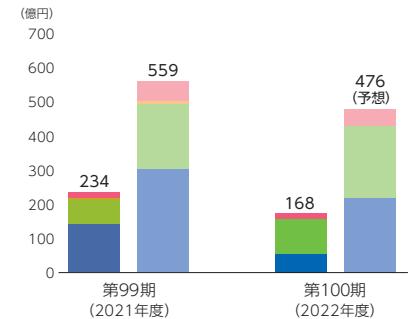
受注高(個別)



売上高(個別)



売上総利益(個別)



建設事業 国内建築：■上半期 ■通期 投資開発事業等：■上半期 ■通期
国内土木：■上半期 ■通期
海外：■上半期 ■通期

繰越工事・工事種別内訳(個別)



(注)「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響額を前事業年度の繰越高に加減しております。

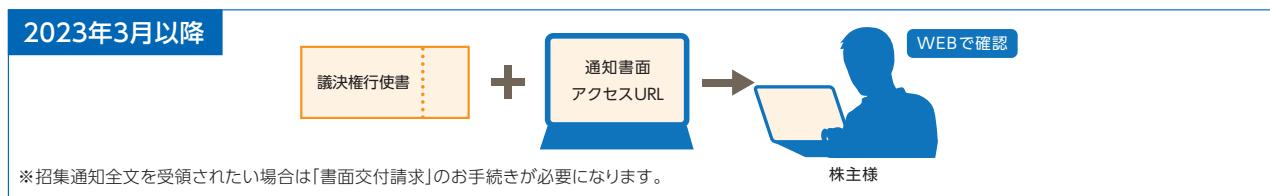
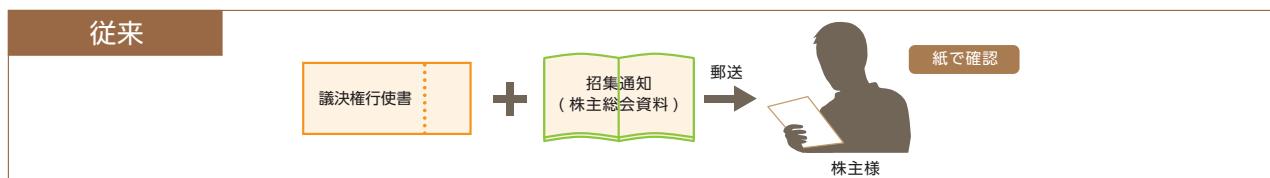
株主総会資料(招集通知)の電子提供制度について

2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料※の電子提供制度(以下「本制度」)が開始されました。次回以降の株主総会では、原則として全ての株主総会資料が電子提供されることとなります。

株主総会資料を紙面で受領したい株主様は、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただくことができます。

「書面交付請求」のお手続きにつきましては、口座を開設している証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社へお問い合わせください。

※株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を指します。



※招集通知全文を受領されたい場合は「書面交付請求」のお手続きが必要になります。

招集通知の書面交付をご希望の場合



株主総会資料の電子提供に関する お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル ☎ 0120-696-505 (受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

よくあるご質問 <https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

もしくは株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。



株主様アンケート結果のご報告

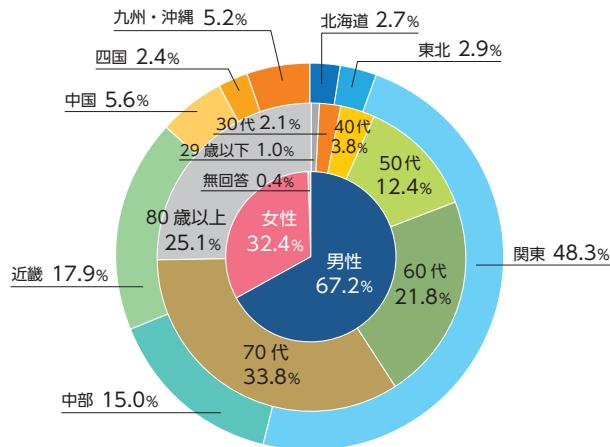
株主優待案内に同封いたしました株主様アンケートにつきまして、3,577名の株主様よりご回答をいただきました。

ご協力を賜り、まことにありがとうございました。

皆様からのお声の一部を掲載いたします。

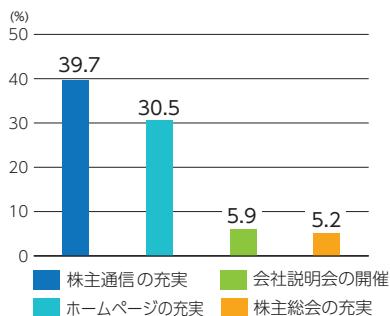
いただきましたご意見は、今後の経営やIR活動に活用させていただきます。

● 調査期間	2022年6月8日～6月27日
● 調査対象	1,000株以上保有株主 5,479名
● 回答者数	3,577名
● 回答率	65.3%

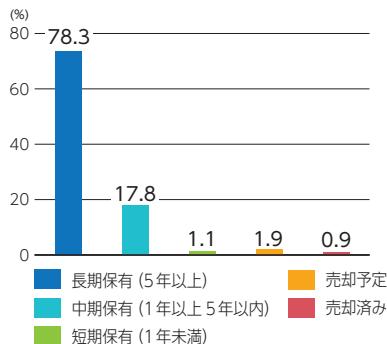


アンケート結果(一部)

情報開示・IR活動への要望



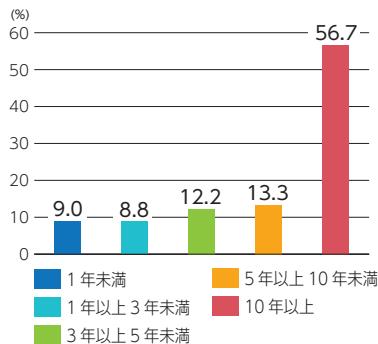
今後の株式保有方針



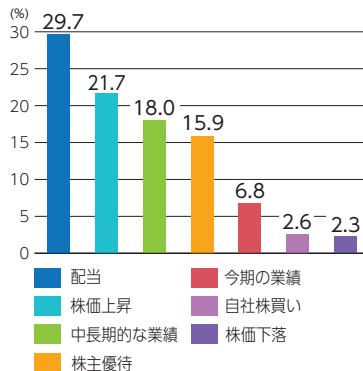
株主の皆様からのご意見(抜粋)

- 株価維持とともに安定的な増配を希望します。
- 堅実に適正配当が出せるようにがんばってください。
- 企業収益を増やして配当金及び株主優待をよろしくおねがいたします。
- 株主優待品もweb申込みができると良いと思います。
- ホテル割引は、毎回遠くて行けなかったのが、優待品に替わり、うれしいです。
- CMを見て、戸田建設の株を買いました。環境に配慮した発電などを期待しています。
- 新本社ビルが完成したら見学会をお願いします。
- 浮体式洋上風力発電の技術をもっと発展させ、建築につぐ主力事業にしていきたい。

株式の保有歴



今後の保有の決め手



■ 会社概要

(2022年9月30日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区八丁堀二丁目8番5号)

支店

- ・東京支店(東京都港区)・首都圏土木支店(東京都中央区)
- ・千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)
- ・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋)
- ・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)
- ・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)・国際支店(東京都中央区)

筑波技術研究所(つくば市)

子会社

- ・株式会社アペックエンジニアリング(埼玉)・戸田ソーラーエナジー深谷合同会社(東京)
- ・千代田建工株式会社(東京)・昭和建设株式会社(茨城)
- ・戸田道路株式会社(東京)・五島フローティングウインドファーム合同会社(長崎)
- ・戸田ビルパートナーズ株式会社(東京)・Toda America, Inc.(アメリカ)
- ・戸田ファイナンス株式会社(東京)・Thai Toda Corporation Ltd.(タイ)
- ・東和観光開発株式会社(山口)・Toda Vietnam Co., Ltd.(ベトナム)
- ・戸田スタッフサービス株式会社(東京)・PT Toda Group Indonesia(インドネシア)
- ・五島フローティングウインドファーム合同会社(長崎)・Tobic Co., Ltd.(ベトナム)
- ・オアシアウインドファームコンストラクション株式会社(東京)・Toda Investimento do Brasil Ltda.(ブラジル)
- ・佐藤工業株式会社(福島)・Toda Senegal Société à Responsabilité Limitée Unipersonnelle(セネガル)
- ・TODA農房合同会社(東京)・PT Tatumulia Nusantara Indah(インドネシア)

● 従業員の状況

従業員数 6,613名(連結) 4,253名(単体)

● 取締役及び監査役(2022年9月30日現在)

代表取締役会長	今井雅則	常勤監査役(社外)	百井俊次
代表取締役社長	大谷清介	常勤監査役	若林英実
取締役	山寄俊博	監査役(社外)	丸山恵一郎
取締役(社外)	網谷駿介	監査役(社外)	佐藤文夫
取締役(社外)	伊丹俊彦	監査役(社外)	西山潤子
取締役(社外)	荒金久美		
取締役(社外)	室井雅博		

(注) 取締役網谷駿介氏、伊丹俊彦氏、荒金久美氏、室井雅博氏及び監査役百井俊次氏、丸山恵一郎氏、佐藤文夫氏、西山潤子氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。



〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目8番5号
TEL.(03)3535-1354
<https://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索

■ 株式の状況

(2022年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 11,949名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大一産産株式会社	41,293	13.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,400	11.71
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	14,991	4.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,899	3.50
一般社団法人アリー	8,977	2.88
株式会社三菱UFJ銀行	8,048	2.59
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	7,283	2.34
戸田 博子	6,611	2.12
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	6,040	1.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口 620090811)	6,002	1.93

(注)1. 上記のほか当社所有の自己株式11,805千株があります。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日(期末配当)9月30日(中間配当)
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-711(通話料無料)

郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.toda.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。